

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和6年度第7回理事会報告

- 日 時：令和6年8月8日(木) 14:05—17:05
○場 所：JSOSビル3F会議室3
○出席者：古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、赤尾・野村・町田各常務理事、小高・小田部・佐藤・島田(途中離席)・中島・中橋・西谷(途中から参加、離席)・畑中・濱田(途中から参加、離席)・樋口・平田・前田・望月各理事
以上19名
佐久間監事、古屋監事 以上2名
○欠 席：蛭田会長(オリンピック)、栗田・杉本・安井理事

1. 開 会

2. 古賀副会長からの挨拶

議長が初めてですが、スムーズに進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中17名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))

監事数 2名出席

4. 議長選出

古賀副会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

副会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号：議事録の承認について(前回第6回の議事録について承認済)

賛成 17名 反対 ゼロ 棄権 ゼロ

議案第2号：補正予算途中報告について

望月理事が画面から現状の説明をした。

補正予算の準備のための型式を送付し、8月8日に調査結果を報告し、9月12日に議決するような日程を想定している。

登山部：補正対象はない。

SC部：補正予算は4委員会(強化、普及、国スポ、国際)が

提出予定。

独立委員会：CC委員会(減価償却は、純増)独立共通が提出予定

事務局： 当初予算より多くなる。

上記補正予算の進捗状況について承認された。

賛成 17名 反対 0名 棄権 0名

議案第3号 基金用途の確認について

赤尾事務局長が配布資料を基に、第1期基金2740万円を使用する理由を説明した。年度末仮に資金が不足した場合、当該基金を運転資金として速やかに充当できるよう使用承認を得たい。以下のように異議なく承認された。

賛成 18名 反対 0名 棄権 0名

(西谷理事参加)

議案第4号 全日本登山大会で参与会を開催しないことの確認について

直近の岐阜県、千葉県でおこなわれた全日本登山大会では実施していない。次回参与会を、正月(新春懇談会)に予定しているなら、それでよいし、当件の可否は、普及委員会で取り扱う必要はないのではないかという意見が出た。

代わりに、3役で慎重に検討し、継続審議することについて、以下のように異議なく承認された。

賛成 18名 反対 0名 棄権 0名

議案第5号 大阪府岳連からの申し入れについて

小野寺専務理事が、配布資料を基に説明した。

その後、以下の意見が出た。

文書の内容について

K氏について言及している内容は、2023年度と混同している模様。

総会時に決議され、大阪府岳連会長が知っていることについても

言及している。その内容を覆したいのか真意を確認する必要がある。

文書の型式について

文書発行の日付がない、専務理事名で出ているなど、正式文書として要件を満たしていない部分があるので、小野寺専務理事から、その内容を発信者に確認する。

赤字検証委員会からの理事の責任問題について

赤字検証委員会として理事会の責任を指摘し、その後の監事による検証（弁護士の助言も含む）により法的責任者（善管注意義務違反）を六名としたが、交渉の結果、責任免除議案として総会でも承認された。これが総てだが、あえて付言すれば、理事会等での限られた時間と情報しかない中で、全ての理事にも一定の責任はあるにしろ、過重な責任を取らせることには無理がある。理事会メンバーにはあくまで自発的な基金協力という形で責任の一端を取ってもらうしかないと思料する。

当申し入れ（各要望事項）に対する対応について

6つの要望項目に対して一つずつ返答が必要。

総会で正会員が決議したことは、その旨返答する。

要望項目によっては、来年とかの対応になるものがある。

（例：懲罰規程等来年総会までに準備するなど）。

誰が検討する人か、時期をどうするかを決め、12月中には、内容を固めて目途を立てることが必要である。

上記を踏まえたうえで、三役で回答を考えるという進め方について決議し、以下のように異議なく承認された。

賛成 19名 反対 ゼロ 棄権 ゼロ

議案第6号 2025年度全日本登山大会の開催場所について

（報告第3号議案に関連して追加議案）

来年度の開催場所を兵庫県にする件について、採決を取り、以下のように承認された。

賛成 16名 反対 ゼロ 棄権 ゼロ

（西谷・島田・濱田理事離席）

7. 報告

報告第1号 月次報告、キャッシュフローについて

赤尾事務局長が、画面から説明した。

キャッシュフロー自体は、前月の試算同様で令和6年度の予算に対しての執行割合は、7月末の4か月で33%となっている。

報告第2号 アジア山岳連盟30周年について

小野寺専務理事が、当イベント開催の経緯と、推進体制、海外からの入国者対応状況、最終的に合計220-230名が祝賀会に参加した旨を説明し

た。尚、関係者内で、意見のすれ違いがあり、JMCSAの対応が不十分ではないかというような指摘があり、その後、そのメールが紹介された。

当件は、JMCSA内で経緯を確認、反省し、関係団体に、謝罪したほうが良い部分もあるので、蛭田会長帰国後に、三役会議で対応を相談予定。

報告第3号 全日本登山大会について

望月理事が、出席予定状況を説明した。理事は、蛭田会長、古賀・吉田副会長、小野寺専務理事、前田・望月理事)の出席は確定しているが、あと30名ほど枠があり、8/20までに参加人数等確定の予定。その他理事の参加は、望月理事へ8/15までに報告する。

報告第4号 専務理事の給料減額について

小野寺専務理事が説明した。総会では、反対意見もなかったので、承認されている。

報告第5号 正会員・理事の徴収について

小野寺専務理事が、昨年同様 岳連推薦正会員は、50,000円、学識経験推薦理事 10,000円を請求予定であることを報告した。

報告第6号 役員賠償責任保険費用の一部負担について

小野寺専務理事が、5億円の保険にはいっているが、理事、監事25名に、各自3,000円の負担をお願いすることを伝達した。

報告第7号 山の日協議会体制について

小野寺専務理事が配布資料を基に説明した。

報告第8号 UIAA総会について(12月8,9日開催予定)

小野寺専務理事が配布資料を基に説明した。今回の総会は、選挙の見込み。本来ならば、マネージメントコミッティーにJMCSAから入った方が良いが、当面JMCSA内で候補者がいない状況。

報告第9号 共済委員会委員リスト、資格審査委員会について

小野寺専務理事が配布資料を基に説明した。

共済委員会にSC部からメンバーを入れることを常務理事会で協議した。濱田理事は、オブザーバーとなり、担当理事から外れることとなった。資格審査委員会は、SCの各委員会からの代表メンバーと、ガバナンス委員会から小野寺委員長、赤尾副委員長が参加することが、常務理事会で決まり、その旨伝達した。

報告第10号 JSC補助金顛末書について

赤尾事務局長が配布資料をもとに説明し、その後以下の意見が出た。当件は、委員会の主管理事が予算と、実収支を仕切る責任者なので、事務局だけでなく、委員会の問題ではないか。

委員会によって、委員会と事務局のお金のやり取り、分担が

バラバラなので、一度整理をし、役割を明確にした方が良い。
そのためにも、事務局分掌表を作成し、それをベースに、
常務理事会で今後協議することになったことが伝達された。

報告第11号 役員派遣について

配布資料を見ていただき、過不足があれば事務局あて連絡する。

8. その他

国スポは、奈良県香芝市で実施することが決まった。

理事会の内容を早くメールで知りたいという声（議案と、何が決まったか等）
が、岳連の会長から出ている。

今回、以下の3点が協議されておらず、積み残しになっている。

- a. 旧理事の責任問題について（懲罰委員会、倫理規程、処分規程等に基づく処分など）
- b. 月報のデジタル化
- c. 理事会報告について

上記については、理事会全体で、前向きに対応していくことを確認した。

業務委託契約の更新状況について

- a. 百瀬、藤枝氏の業務委託

すでに、更新済。年度報告書は提示されたので、関係者に伝達する。

もう少し短い期間での報告が良いのではということになっている。

- b. 原田氏の業務委託

4-6月の原契約は、7-9月まで契約が自動更新されている。その後の契約
は、業務移行状況により、条件等を検討する予定。

令和6年8月8日

記録 赤尾 浩一

以 上